

## 第2回委員会での 主な意見に対する整理

①

文化財を  
残す意義

②

博物館の  
特徴、強み

③

ターゲット  
の考え方

④

館と公園の  
一体化

⑤

公園の  
運動設備

# ① 文化財を 残す意義

資料や歴史の研究やその発信によって、利用者が自らの生き方を考える場となるなど、その活用と共有と方法を常に考えていくという理念や明文化が重要。

## ○文化財とは

- ・長い時間の中で自然や人の営みによって生まれ、遺されてきたもの
- ・一度失われると戻せない。写真では得られないモノの情報
- ・過去を知る、歴史的事実の解明につながる

## ○文化財がもたらす価値

### ①個人への示唆

- ・過去と繋がっている現在や自身のあり方を認識
- ・アイデンティティ形成に寄与

例 橋本左内や坂本竜馬の手紙を見た、一般の方

- ・人は国難に当たりどのような思考・行動をしたのか、幕末維新の人々の行動があって今の社会があることを知り、自分はどのように生きていくべきか、国や政治はどうあるべきかを考えるきっかけになった。

### ②地域・社会への示唆

- ・地域の特徴を考える手がかり
- ・シビックプライド形成に寄与

例 地元の歴史を勉強している団体

- ・地元に残る古文書をみんなで読んでいる。時に、学芸員や大学の先生からアドバイスをもらう。
- ・今まで知らなかった地元の歴史があることを知り、驚くとともに、それが地元の魅力、活性化に繋がるのではと思い、冊子を刊行したり、街づくりに生かそうとしたり行動している。

- 今後も文化財の収集保存を継続し、様々な手法による展示(オープン展示含む)を行い、県民のアイデンティティ形成等に寄与する。

**②  
博物館の  
特徴、強み**

県内にいろいろな文化を楽しめる博物館や施設がある中、歴史博物館が、今後どういった特徴を出していくのか。

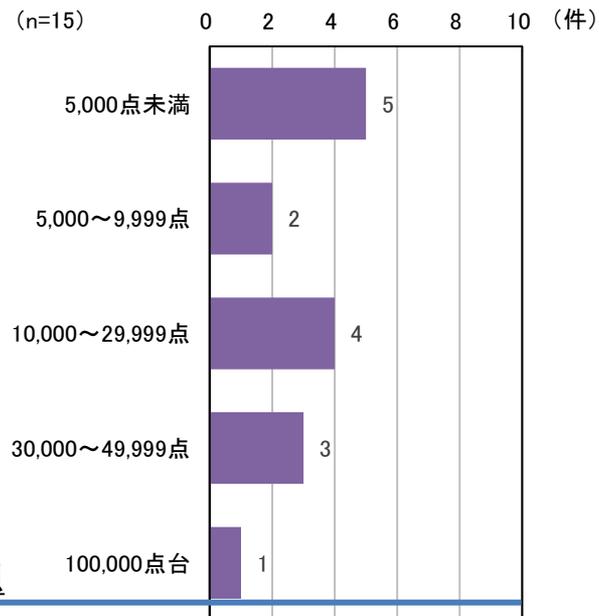
○モノの力(県内全域、全時代、多分野、膨大)

- ・県内全域の文化財をフォロー
- ・時代が旧石器から近現代に及ぶ
- ・歴史(古代、中世、近世、近現代)、考古、民俗、美術工芸、地理まで、多分野に広がる
- ・国、県指定等を含む22万点に及ぶ膨大な収蔵品

○場の力

- ・広大な都市公園が隣接
- ・学び・憩い・健康を提供し、世代を超えた交流を促進

■ 県内市町(私立含む)の歴史系博物館の収蔵数



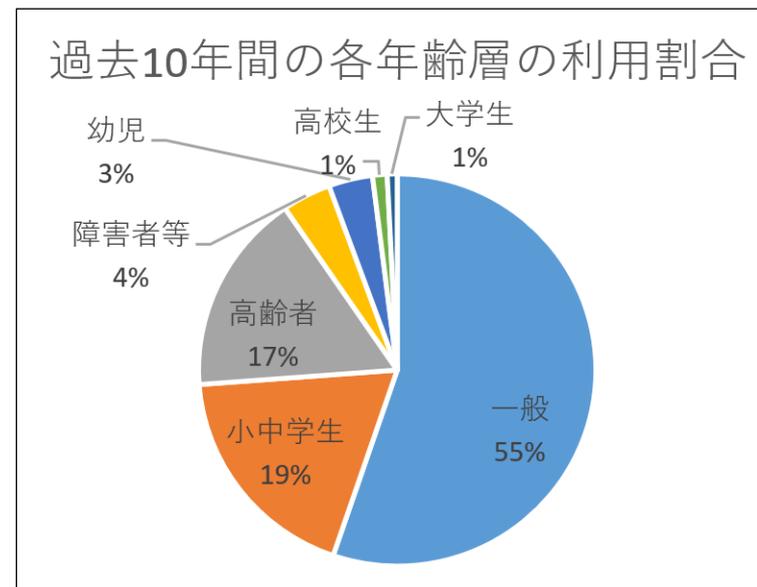
**歴史博物館は約22万4千点**

### ③ ターゲット の考え方

歴史学として考えるのは小学5・6年生くらいからなので、メインの対象を中高生にすることも考えられる。それより低年齢の人には、こども歴史文化館がある。

福井県立歴史博物館でも人気の昭和のコーナーを1階の無料ゾーンに持ってきて、子供が遊べるようにするのもいいのではないか。

- ・現在の展示は、多様な県民が対象で、「中学生に分かる」解説を基準にしている。
- ・現状、小学生3・4年の学校利用が非常に多いことから、現在の利用者層に加えて、小学生やその親にも体験や遊びを通して楽しんでもらえる要素を加えていく。
- ・福井の未来を担う小中高大学生を対象にした取り組みも検討。



## ④ 館と公園の 一体化

博物館と公園が一体化してつながることは難しいテーマ、無理にしないでいいのでは。

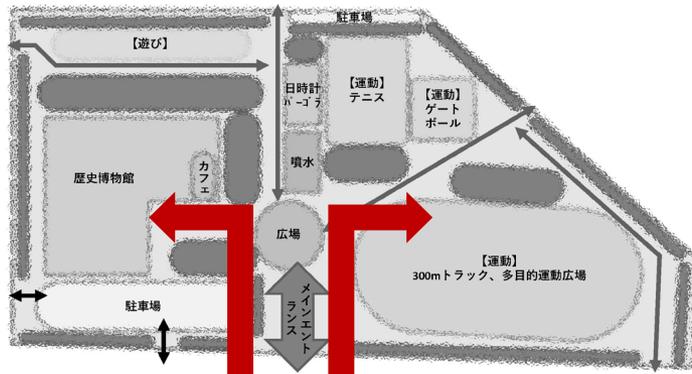
博物館に興味を持つ入口として、エントランスの景観から博物館前、公園とつながる広場の空間の使い方を考え直していく余地はあるのではないか。

公園と博物館を一体化する場合、年齢や家族構成などのターゲットを考えていく必要がある。

- 月1回から年に数回公園に来訪するミドル層の親子は、公園も博物館も利用(アンケート結果より)
- ・この層は、両施設の利用をメリットに感じており、これらの親子層が利用し易い、子どもの遊び場、屋根のある休憩所、子どもと参加する催し、ワークショップなどが有効。
- 博物館と公園の一体化により、両方を行き来する利用者層をさらに育てていくことで、博物館と公園の全体の利用者の底上げを目指す

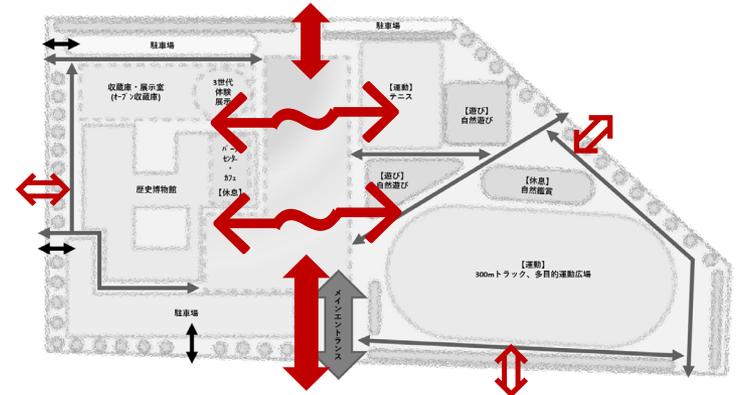
### 現状

博物館と公園を別々に利用し、交わらない



### 一体化後

博物館と公園を行き来する。利用者が増え活性化



⑤  
公園の  
運動設備

グラウンドをスポーツに特化するのか、緑の空間の子どもの遊び場になるのか、全体が多目的な公園になるのか、方向性を考える必要がある。

運動施設は、現在のニーズに合っているのかという視点より、ゲートボール場は全国的にも利用が少ない、テニスコートは非常に人気が高いなどにより考えてほしい。

【トラックに関する意見】

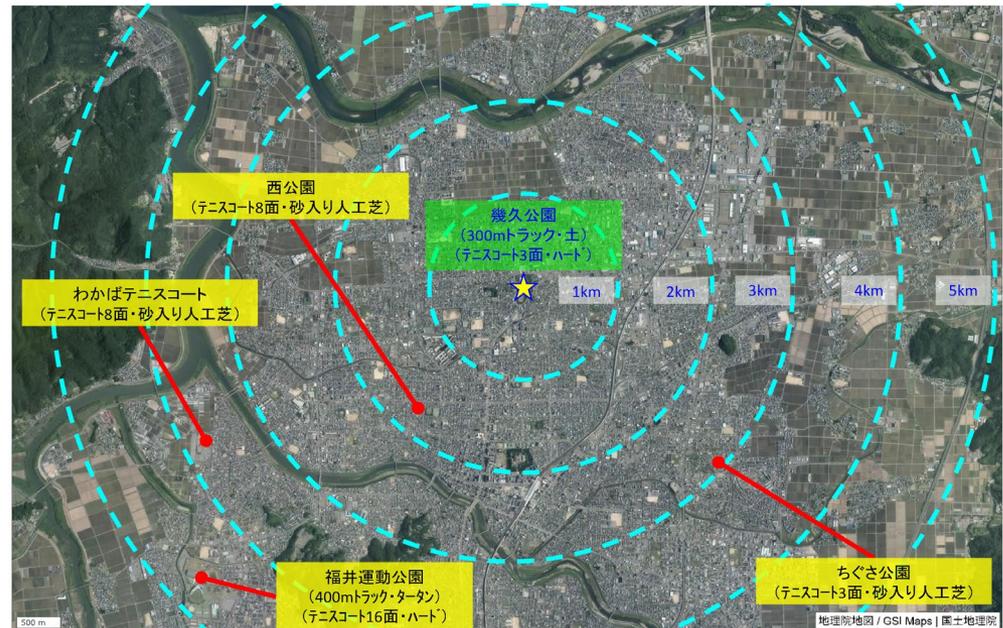
- ・高校生の部活動や周辺住民によるランニングで活用。
- ・300mの土のトラックは足の負担も少なく、くぼみも無く走りやすい。非常に貴重な環境。
- ・このトラックがなくなると、周辺の4高校とも、部活動が成り立たなくなることを危惧。

【テニスコートに関する意見】

- ・高校生の部活動や周辺住民の団体が活用。
- ・ハードコートの環境は周辺に県営テニス場しかなく、貴重な環境。
- ・このテニスコートがなくなると、部活動が成り立たなくなることを危惧。

【ゲートボール場に関する意見】

- ・ゲートボール場は活用されていない。  
(多目的グラウンド中央の芝生部分ではグラウンドゴルフを実施)



「トラック」、「テニスコート」は補修を行ったうえで継続  
「ゲートボール場」は、別の用途を検討。